

「中北地域普及センター」



●新商品の試作検討会



●食品の衛生講習会

## 女性起業グループの活性化に向けて

中北地域には農産物直売所が多く、直売所を拠点に農産物や農産加工品を販売する農村女性起業グループが数多く活動されています。

普及センターでは、グループの活動がより活性化するように、農産加工品の新商品を開発するための検討会や、(社)県食品衛生協会から講師を招き、農産加工品など食品を作る際の衛生上の注意点など衛生講習会を開催しました。

今後も女性起業グループのそれぞれの課題にあわせて更なる支援を行っていきます。



RENAISSANCE OF AGRICULTURE IN YAMANASHI 2010

「峡東地域普及センター」



●現地検討会



●ブドウの剪定実習

## 新たな担い手を対象とした果樹技術向上セミナー

峡東地域普及センターでは、就農5年以下の経験は浅いが意欲的な新規就農者を対象に果樹技術向上セミナーを開催しています。セミナーの内容は、果樹の一般知識を講義形式で学ぶ基礎コース、品目毎に時期の作業ポイントをほ場で実際に見て学ぶ実践コース(ブドウ・モモ)からなっています。今年度は、実践にすぐ活かせるよう、受講生がそれぞれ課題や目標を設定し、その解決に向けた積極的な取り組みを行っています。セミナーでは栽培相談会の開催や課題や目標に添った内容を取り上げるなどの支援をしています。

峡東地域には毎年30名以上の新規就農者があり、そのほとんどが果樹部門です。新たに就農した方々からは、栽培技術や知識の習得と仲間づくりの場が求められており、セミナーでもそうした役割が期待されています。今後も、地域の担い手の確保・育成に貢献する取り組みとして開催していきます。

「峡南地域普及センター」



●キビ・アワの播種



●小麦の収穫

## 企業の農園づくり活動の取り組み

山梨県では、企業の社員研修、福利厚生、社会貢献の活動として農園の活用を推進するため「やまなし企業の農園づくり活動」を行なっています。富士川町では、(株)はくばくと同町内の農家による企業の農園を平成21年9月から検討し、平成22年3月2日に協定の調印を行ないました。

(株)はくばくは、小麦や雑穀などを扱っていますが、それらがどのように栽培されているか、社員の研修の場として農園を活用しています。協定の調印後、普及センターで支援しながら、(株)はくばくの社員が農家の栽培する小麦の追肥や除草、収穫作業を行いました。7月にキビ、アワの播種、その後8月の高温・乾燥がありましたが、除草、間引といった作業を経て、10月にキビ・アワの収穫を行うことができました。11月には小麦を播種し、23年6月の収穫を目指しています。23年度はアワ、キビに加えてコムギも栽培し、社員の研修の場として拡げて行く予定です。

やまなし農業ルネサンス 普及センターの活動報告

「富士・東部地域普及センター」



●農産物直売研修会(大月市民会館)



●農産物直売研修会(都留市役所)

## 農産物直売研修会を開催

直売所の農産物は新鮮で安心感があることから、今日、消費者からの注目を集めており、東部地域においても地産地消を目指した多くの直売所が設置されています。

富士・東部地域普及センターでは、大月市・都留市・上野原市の農産物直売所出荷者を対象に2月から3月にかけて、研修会を開催しました。

直売所の信頼度の更なる向上を目指して、安全・安心な農産物を生産する上での農業の正しい使い方、食品表示制度のしくみと決められた表示について学んでいただきました。

今後は、栽培技術講習会等を通して、品質の向上・品目数の増加・販売期間の拡大に向けた支援をしていきます。